

# おらんが坂

—特集—

大動脈治療の

さらなる強化へ

24時間対応

ステントグラフト内挿術

[CONTENTS]

- ・ 理事長所感～新しく生まれるもの～
- ・ 平成29年度病院実績
- ・ がん診療統括センター便り
- ・ 認定看護師による看護ケアROOM
- ・ 患者総合支援センターの紹介
- ・ 副院長兼看護部長、事務部長 新任のご挨拶
- ・ 4～6月新任医師紹介
- ・ スタッフリレー紹介
- ・ MINATOPICS ミナトピクス
- ・ 外来担当医表



No. 71

2018.8



# 新しく生まれるもの

— みなとメディカルをめぐる電停名称変更と「新生児内科」の新設 —

地方独立行政法人長崎市立病院機構  
理事長 兼松 隆之

長崎の路面電車の停留場の名称が平成30年8月1日から変わりました。長崎みなとメディカルセンター前の停留場はこれまでの「市民病院前」から「メディカルセンター」となります。その他12か所の名称が変更されています。この変更の目的は利用者に場所を現状に合わせさらに明確にし、かつ、沿線の観光施設等を名乗ることで利用者の利便性の向上を目指したものとされています（長崎電気軌道株式会社ホームページより）。市民の皆様には一日も早くなじみの名称となっていくことを願ってやみません。



さて、長崎みなとメディカルセンターでの最近のトピックスは、4月から新たに「新生児内科」を35番目の診療科として開設したことです。ここは、出生時体重が2,500g未満、あるいは呼吸障害などのなんらかの病気を抱えて生まれた新生児

に対し、集中的に管理・治療を行う診療科です。従来、小児科の先生方がこれにあたってくれていましたが、この4月からは全国でも指折りの新生児治療の実績を誇る鹿児島市立病院のご理解とご支援をいただき、スタッフ1名を常勤医として派遣してもらいました。いまは、本院の小児科スタッフと一緒に新生児集中治療管理室（NICU）を中心として診療に当たってもらっています。

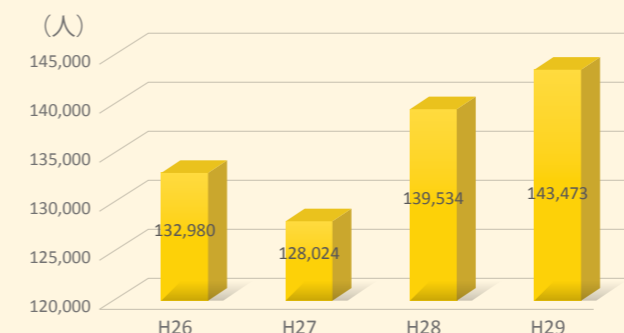
今回、お招きした医師は産婦人科領域を専門とされ、その上でさらに新生児医療の専門医資格も取得された先生です。したがって、この先生は新生児医療に携われるものの“小児科”ではありませんので、新たに「新生児内科」を標榜することになった次第です。

今、長崎大学病院では総合周産期母子医療センターの設置準備が進んでいます。今後、本センターでも鹿児島市立病院からのご支援に感謝しつつ、新生児医療の更なる強化に努め、長崎県産婦人科医会の先生方ならびに長崎大学病院とも協力しながら、県民の皆様が長崎で安心してお産ができる体制を作っていかなければならないと考えています。

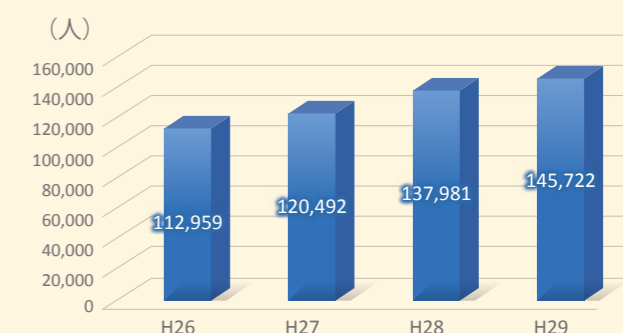
# 平成29年度病院実績

平成29年度の病院実績の一部をご報告します。

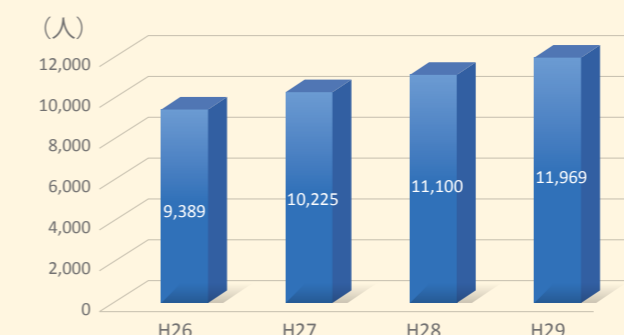
■ 外来延べ患者数（年間） ※健診の数は含んでいません。



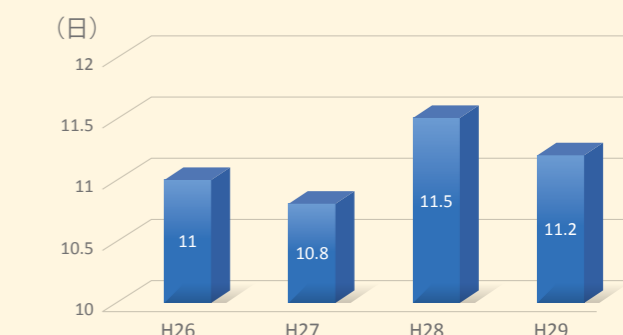
■ 入院延べ患者数（年間）



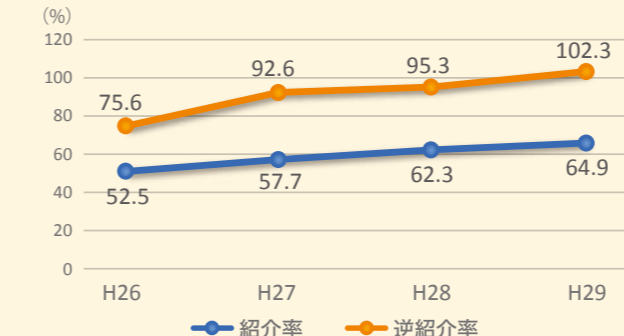
■ 新入院患者数（年間）



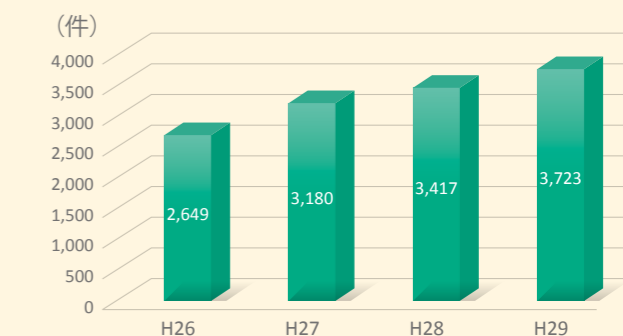
■ 平均在院日数（入院全体）



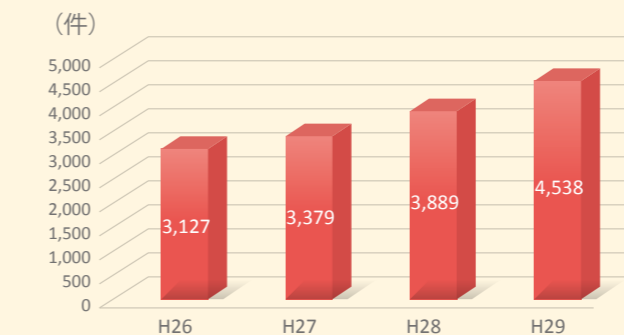
■ 紹介率/逆紹介率



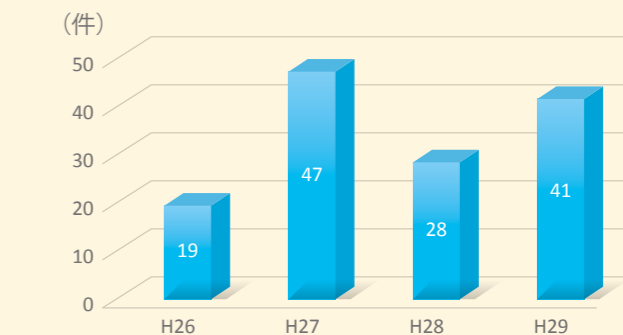
■ 手術症例数 ※麻酔科医又は手術部スタッフが関わった手術症例数



■ 救急車搬送件数



■ ドクターヘリ等による搬送の受入れ件数



※救急車搬送件数のみ暦年の件数となります。

(全て年度データです)

その他、各診療科の実績につきましては、ホームページに随時掲載していきますのでご覧ください。



特集

# 大動脈治療のさらなる強化へ

— 24時間対応可能となったステントグラフト内挿術 —



放射線科 主任診療部長 坂本 一郎  
医長 御手洗 和範



心臓血管外科 主任診療部長 橋詰 浩二  
北村 哲生  
谷川 陽彦

大動脈治療センターへの夢

このたび2018年4月に、長崎みなとメディカルセンター放射線科主任診療部長として坂本一郎先生が赴任されました。坂本先生は、1999年に行われた長崎県におけるステントグラフト内挿術第一例目から現在に至るまで500例以上のステントグラフト内挿術治療に携わり、長崎におけるステントグラフト治療の第一人者であります。われわれ心臓血管外科としても、坂本先生の赴任に伴い24時間対応可能となったステントグラフト治療に力を入れていきたいと考えております。今回は、現在の当院における大動脈治療の現状と今後の目標について述べたいと思います。

## 大動脈（胸部・腹部）症例は200例

4年間で経験した大動脈手術は、胸部大動脈疾患90例、腹部大動脈疾患110例でした。うち緊急手術の割合は、急性大動脈解離（A）が多く占める胸部大動脈疾患が53例（58.9%）と高く、腹部大動脈疾患は破裂例が11例（10.0%）でありました。

	手術件数	緊急(%)
胸部大血管	90	53(58.9)
腹部大血管	110	11(10.0)
合計	200	63(31.5)

表1：大動脈疾患手術件数

## 年齢中央値は76歳。85歳以上が12.7%を占める

当センターの特徴は、患者さんの年齢層が高いことが挙げられます。大動脈疾患200例の年齢中央値は76歳で、80歳以上が75例（37.5%）を占め、85歳以上の超高齢者は28例（90歳以上は6例）と全体の12.7%を占めております。このように高年齢者が多く占める大動脈疾患に対しては、より低侵襲治療であるステントグラフト内挿術が有効な治療手段となるわけです。

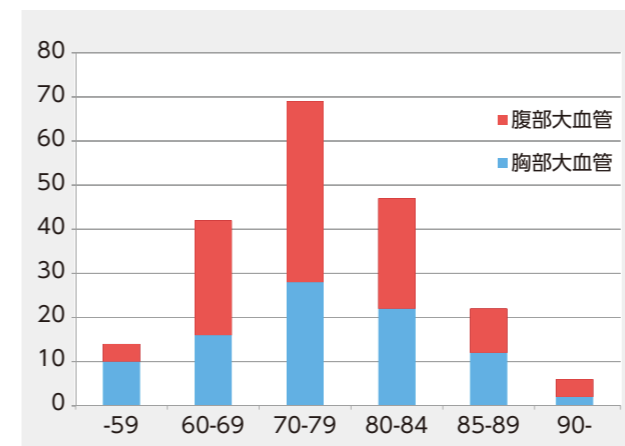
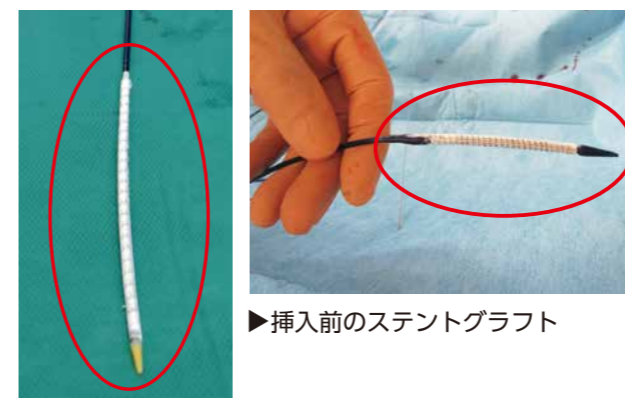


図1：大動脈症例年齢分布



## 腹部大動脈瘤に対する治療の現状

当センターにおける待機的（非破裂）腹部大動脈瘤に対する治療方針は、手術リスクの低い患者さんに対しては、開腹による人工血管置換術を第一選択にしています。超高齢者やCOPD（在宅酸素）や合併症を多く有する患者さんに対しては腹部大動脈内ステントグラフト内挿術（EVAR）を選択しています。当センターにおける待機的腹部大動脈瘤症例は99例で、うち24例（24.2%）に対してEVARを行っております。手術死亡はなく非破裂腹部大動脈瘤の治療成績は良好です。対して破裂性腹部大動脈瘤の治療成績は手術死亡27.2%と高率で、手術室に搬入できなかった症例も合わせるとさらに不良となります。このことより腹部大動脈瘤に対する治療の基本は、破裂する前に治療を行うことであることは明白であります。これまでご高齢であることや、手術リスクが高く治療紹介を躊躇していた症例に対してもEVARを選択できる場合もあり、破裂の予防が可能であると考えられます。

	手術件数	在院死亡
待機手術	99	0
人工血管置換	75	0
ステントグラフト	24	0
緊急手術（破裂）	11	3(27.2%)
人工血管置換	10	2
ステントグラフト	1	1
合計	110	3(2.7%)

表2：腹部大血管手術件数





## 胸部大動脈疾患に対する治療の現状

胸部大動脈疾患に対する外科治療成績向上には、新たな手術手技の登場が大きく関わっています。人工心肺を用い低体温とした状態で、大きく開胸し行う人工血管置換術一辺倒であったものに、近年胸部大動脈内ステントグラフト内挿術（TEVAR）や、さらに開胸手術中に用いるオープンステントグラフト留置術などより低侵襲に行える手技も可能となってきました（図2）。これらの3つの手技をうまく組み合わせることで、手術リスクの高い症例に対してもより低侵襲な手術が可能となり、さらなる治療成績向上が期待できます。

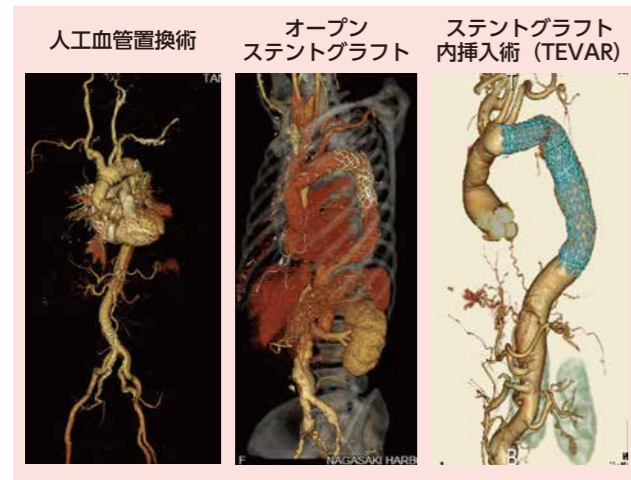


図2：胸部大動脈疾患に対する3つの手術手技

表3に当センターにおける胸部大動脈疾患手術症例を示します。過去4年間に、大動脈解離54例、真性胸部大動脈瘤36例の手術を行いました。急性大動脈解離（A）の手術は人工血管置換術が基本ですが、慢性大動脈解離や真性胸部大動脈瘤に対しては、オープンステントグラフト術を10例、TEVARを17例に対して行いました。今後も患者さんの年齢やリスクを考慮しより良い治療法を選択して行きたいと考えております。

	手術件数	人工血管置換術	Open Stent graft	TEVAR
大動脈解離	54	49	3	2
急性	46	44	1	1
慢性	8	5	2	1
真性動脈瘤	36	14	7	15
合計	90	63(0)	10(0)	17(2)

表3：胸部大血管手術件数 ( ) は死亡数



## 内臓動脈瘤に対する治療

坂本先生の赴任により可能となったのはステントグラフト治療ではありません。たとえば内臓動脈瘤の治療も即座に対応が可能となりました。症例は90歳の男性です。造影CT上最大径50mmの脾動脈瘤を認め、瘤内をNBCA（液状塞栓物質）で、瘤近位側脾動脈はコイルを用い塞栓しました。確認造影では脾動脈瘤の造影はされませんでした。（図3）

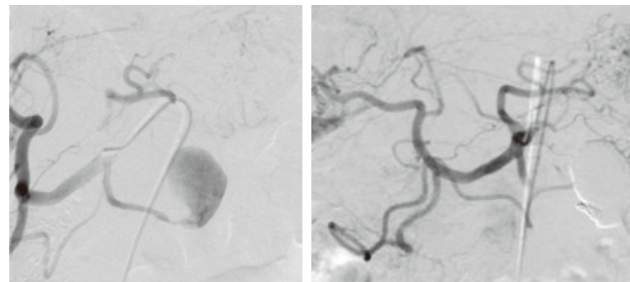


図3：脾動脈瘤に対する塞栓術

## 大動脈治療センター設立への夢

当センターでは、脳神経内科・脳神経外科・心臓血管内科・カテーテル治療科の努力で、頭の血管から足先の血管まで、あらゆる血管疾患に治療可能な状態があります。さらに大動脈に対するあらゆる治療も当院で完遂できることとなり、私はずっと描いていた大動脈治療センター設立の夢が一步前進しました。

地域の皆様も、日常の診療における大動脈治療について適応や介入時期など悩まれていることがあれば、遠慮なくご相談いただければ幸いです。患者さんにあったより良い治療法をスタッフ一同で考え提示させていただきます。よろしくお願いいたします。

## 医 | 師 | 紹 | 介

### 放射線科 × 心臓血管外科

放射線科 主任診療部長  
坂本 一郎

#### 特に専門とする領域

血管内治療（特に大血管病変や腫瘍性病変）、  
心大血管の画像診断

- ・日本医学放射線学会放射線診断専門医
- ・日本IVR学会専門医
- ・日本脈管学会脈管専門医
- ・胸部・腹部ステントグラフト指導医
- ・日本医学放射線学会研修指導者

心臓血管外科 主任診療部長  
橋詰 浩二

#### 特に専門とする領域

心臓血管外科一般

- ・心臓血管外科専門医・修練指導者
- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・日本脈管学会脈管専門医
- ・日本胸部外科学会認定医
- ・臨床研修指導医

## ステントグラフト内挿術 TEAM





当センターでは、今年度NPO法人キャンサーネットジャパンが活動している、『ブルーリボンキャラバン』に参加し、平成31年2月9日に市民公開講座を行います。開催に伴って、今年度の『がん診療統括センター便り』では、大腸癌について、①大腸がんの総論②内視鏡治療③腹腔鏡手術④化学療法について、毎号紹介していきます。



## 長崎の大腸がん

長崎県では2008年以降、「がん対策推進条例」及び「がん対策推進基本計画」に基づき、がんの一次予防対策やがん検診の推進、がん診療連携拠点病院を中心とした診療水準の向上と地域連携の推進等に取り組んでおり、2018年度から第3期の「長崎県がん対策推進計画」が策定されています。このなかで長崎みなとメディカルセンターは長崎市を中心とした医療圏人口約54万人（2015年時点）の「地域がん診療連携拠点病院」であり、日本消化器外科学会の専門医6人が在職し、大腸がん、胃がんを中心に肝臓・胆道系・膵臓のがん、乳がん、甲状腺がん、

肺がんの診療において地域の中心的役割を果たしています。長崎県ではがん罹患患者数は男女ともに急増しており、毎年5,000人ほどの人々ががんで亡くなっています（図1）。がんの主要部位としては男女ともに大腸がんがトップであり（図2,3）、がん

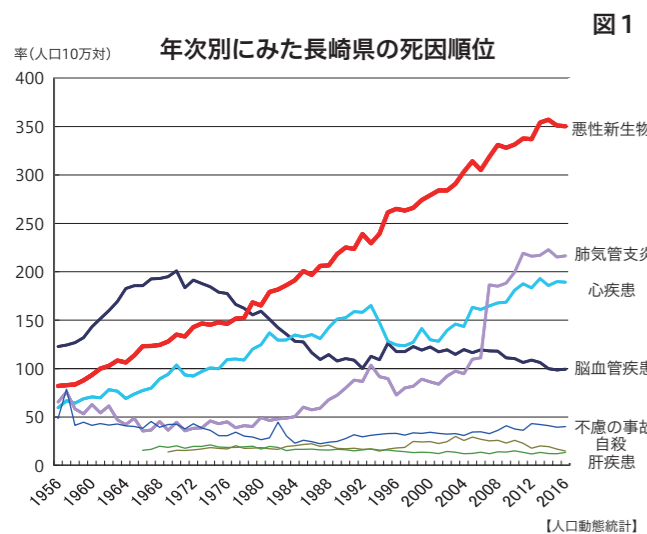


図1

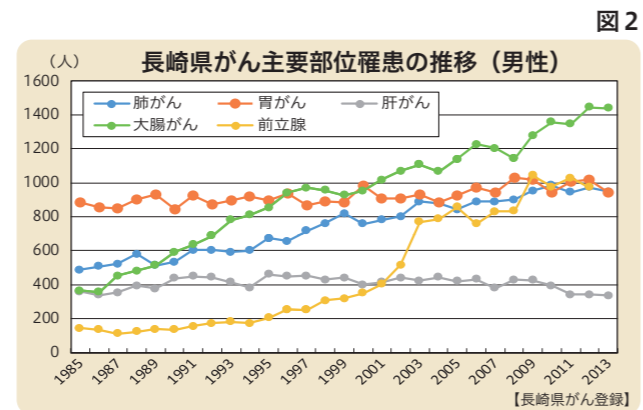


図2

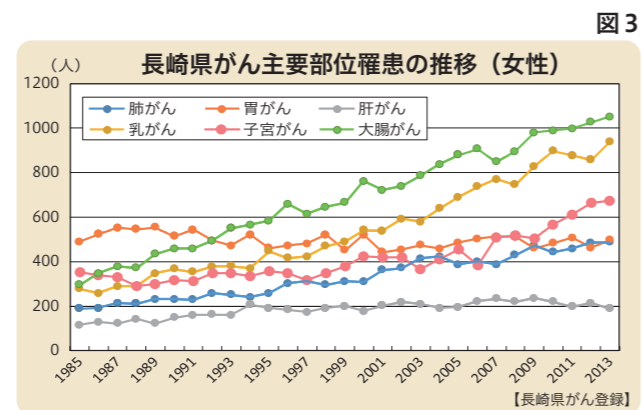


図3

の年齢調整死亡率\*は2013年に策定された第2期の「長崎県がん対策推進計画」の時点では男性がワースト21位でしたが今回は6位まで上昇し、女性は5年前と同様ワースト2位と驚くべき結果です（表1）。長崎県のがんによる死亡原因として大腸がんは最大の課題といっても過言ではありません。また、世界保健機関によれば「がんの30~50%は予防できる」とされており、がん予防にも力を入れていますが県内では大腸がんだけではなく多くのがん検診受診率が国の目標値に達しておらず、今後も粘り強く検診の重要性を広めていく必要があります。一方で、治療方法は大きく進歩しています。早期がんを適応とした内視鏡を使って大腸の内側からがんを切除する内視鏡治療、外科治療としては1990年頃から日本でも導入された腹腔鏡手術は術後の痛みが少なく回復が早いという長所を活かし、2009年度版

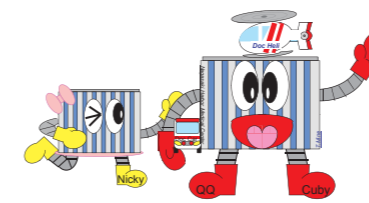
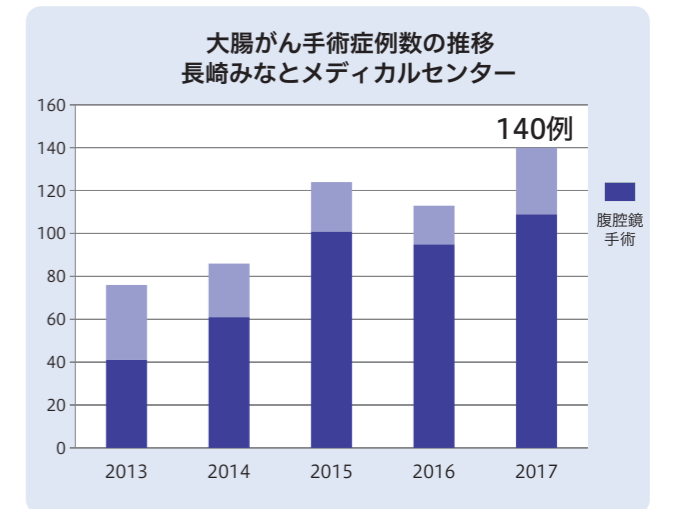
大腸がん治療ガイドラインから進行がんにも適応が拡大され、長崎みなとメディカルセンターでも大腸がん手術のうち腹腔鏡手術の占める割合は約80%となっています（図4）。化学療法は手術と組み合わせられる補助化学療法に加え、手術できない状況であっても化学療法が著しく効いたことにより手術が行われることが増えてきています。また、当センターでは2014年2月に放射線治療として呼吸追尾システムをもったサイバーナイフVSIが導入され、より高精度なピンポイント照射が可能となり大腸がんの肝・肺転移や直腸がん局所再発症例に効果を発揮しています。このように治療法は目覚ましい進歩を遂げ予後の改善に大きく寄与していますが、がん予防および早期発見を目指すことが最も重要であることは言うまでもありません。

図4

表1

順位	男性		女性	
	都道府県	平均	都道府県	平均
	全国	13.6	全国	7.6
1	青森県	19.4	青森県	9.5
2	沖縄県	18.5	長崎県	8.6
3	秋田県	15.2	秋田県	8.5
4	岩手県	15.0	和歌山県	8.4
5	群馬県	14.8	北海道	8.3
6	長崎県	14.7	沖縄県	8.3
7	茨城県	14.6	福岡県	8.2
8	和歌山県	14.5	岩手県	8.2
9	栃木県	14.4	神奈川県	8.1
10	東京都	14.3	栃木県	8.0

\* 2006年~2010年のデータ 男性 21位



副院長 原口 正史  
(消化器外科)



[備考]

\* 年齢調整死亡率 がんは高齢になるほど死亡率が高くなるため、高齢者が多い集団は高齢者が少ない集団よりがんの粗死亡率が高くなります。そのため仮に2つの集団の粗死亡率に差があっても、人口構成が基準となる集団の年齢構成（基準人口）と同じだったら実現されたであろう死亡率のことを示し、通例人口10万人当たりで表示されます。





## 認定看護師による看護ケアROOM

# ～緩和ケア認定看護師編～

みなさん、こんにちは。緩和ケア認定看護師の根々詩織です。  
私は緩和ケアチームの専従看護師として、病棟や外来で横断的に活動しています。  
今回は緩和ケアについてお話ししたいと思います。

### 【緩和ケアとは】

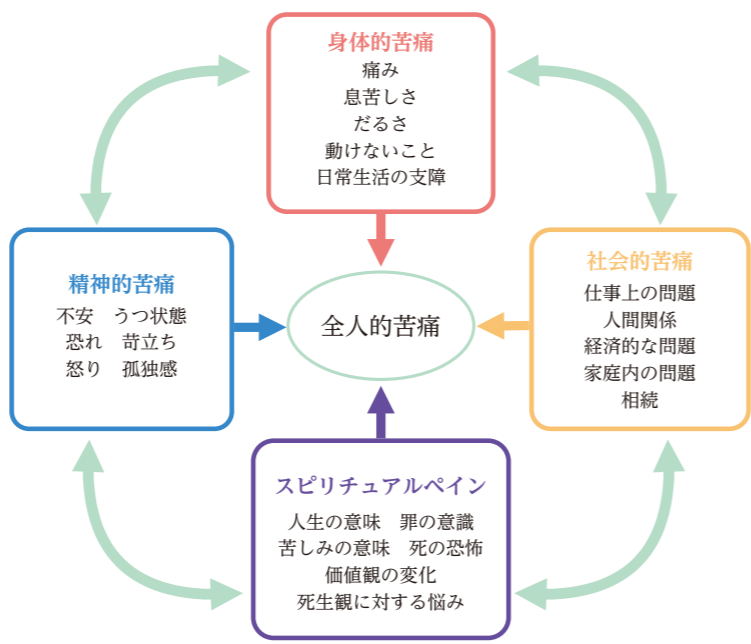
WHOは「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティー・オブ・ライフ（QOL: 生活の質）を改善するアプローチである」と定義づけています。

がんになると病気そのものの症状だけでなく、痛みや食欲の低下、倦怠感、吐き気などの様々な苦しみが出現します。身体的な要素だけでなく、「がん＝死」を連想して気持ちが落ち込んでしまったり、これからの人生に不安を感じたり、仕事や家事などこれまで普通に行ってきたことを困難にさせることもあります。身体やこころの痛みは、人の生きるエネルギーを奪います。希望が見えないことは、人を絶望の淵に追いやります。

緩和ケアの基本的な考え方として、全人的苦痛という概念があります。人には①身体的苦痛、②精神的苦痛、③社会的苦痛、④スピリチュアルな苦痛が存在すると考えられています。これらの苦痛は単独で存在することもあります。多くの場合は互いに影響しあって存在しているため、常に全人的な視点でその人の全体像を捉えることが必要です。そして、がん患者の症状だけを見るのではなく、ひとりの人間として捉える、すべての苦痛を緩和し、生活の質を支えることが必要だという考え方です。

### 全人的苦痛の評価ポイント

- \* どのような人なのか
- \* 病名・病状・予後はどう理解しているのか
- \* 身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな問題はあるか
- \* 日常生活の問題はあるか
- \* 適切な援助を受けているか
- \* 現在、対処できているか
- \* どのような人生を送ってきたのか
- \* 過去の喪失体験はどうだったか
- \* 今後の計画や予定はあるのか



淀川キリスト病院ホスピス編（2007）. 緩和ケアマニュアル. 第5版. 東京, 最新医学社, 39. 一部改訂

### 【緩和ケア認定看護師として】

緩和ケア認定看護師として、以下のような活動を行っています。

- 自分の病気を知り、治療法や今後の療養生活の選択を助けるための意思決定支援
- 痛みや吐き気、倦怠感など様々な苦痛症状を取り除くケア
- 日常生活を取り戻すためのケア
- こころのつらさを和らげるためのケア
- ご家族へのケア
- ご自宅でも緩和ケアを受けられるようにするための退院支援



お花の先生をしていらっしゃるAさん。病院ボランティアさんと一緒に、院内に飾るお花を活けています。

看護は人と関わる仕事です。そして、緩和ケアも人との関わりを大切にする医療だと感じて仕事をしています。当院はがん診療連携拠点病院のため、がん治療中の患者さん・ご家族とも多く関わらせていただいています。がんに限るわけではありませんが、限られた時間の中で精一杯生きる患者さんに大切なことを教えていただくことも多く、出会いに感謝しながら過ごす毎日です。

がん患者さんは、がんの進行に伴い意思決定を繰り返し行っています。がんと診断された時から、治療内容を決める時、治療の中断もしくは中止を決断する時、療養の場所を決める時…ホッと安心できるような内容の時よりも悪い知らせが繰り返される方が多いように感じます。

意思決定支援を行う時、常にその方がどのような方なのか、どのような考えを持ち希望を抱いておられるのかを意識しています。患者さんの中には、治癒を目指し抗がん治療でいっぱいになっている方もいらっしゃいます。何を目標にされているのか、どのようなことを楽しみに生きてこられたか見失いがちになっていることもあるため、もう一度確認できるよう

お話しを聴かせていただいています。そして、希望を実現できるようお手伝いさせていただくこともあります。

ある野球好きな男性は、お子さんの甲子園出場を夢に治療に励まれていました。しかし、病勢は思ったよりも急速に進行していました。抗がん治療を継続するか、中止するかを選択をしなくてはならなくなった頃、卒業シーズンを迎え、お子さんの卒業式に出たいとお話されていました。医療用麻薬を持続静注で使用しており離床も難しい状況でしたが、ご家族、主治医、病棟看護師、緩和ケアチームのスタッフの協力のもと卒業式に参加されました。私も病棟看護師と共に同行させていただきました。ご家族だけでなく、お子さんの友人、部活の顧問の先生に囲まれ笑顔の患者さんは、がん患者ではなくひとりの父親でした。

患者さんのケアを行う時、本当にそれで良いのかと悩み考えることも多々あります。やって良かったということもあれば、失敗だったかなと後悔することもあります。私ひとりだけでケアを行っていくことは不可能であり、患者さん・ご家族や多職種のスタッフに支えられケアを行っています。

### 【緩和ケアチーム】

当院には緩和ケア医師、心療内科医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、管理栄養士、歯科衛生士など多職種で構成された緩和ケアチームがあります。週2回のチーム回診や定期的なカンファレンスを行っています。多職種が専門的な立場からがん患者さん、ご家族と関わり、全人的な苦痛を緩和するための治療やケア、安心して療養生活を送るための支援、患者さんの考えや希望を尊重するために何ができるのかなど、意見交換をしながらチーム医療を展開しています。

毎週木曜日の17:30～18:30には、地域医療者にも公開した緩和ケアカンファレンスも行っていますので、ぜひご参加ください。



長崎みなとメディカルセンター 緩和ケアチームロゴマーク



# 患者総合支援センター紹介

入院時のオリエンテーションや術前検査予約、手術前説明等の入院に関するマネジメントを行う入院支援センターと、前方・後方連携、医療福祉相談、退院支援等を行う医療連携センター、そしてがん相談支援センターと患者相談室は、平成30年4月から統合し、「患者総合支援センター みなとさぼーと」として生まれ変わりました。また、新たに患者総合支援センター長として、森俊介医師が就任しました。今回は、地域連携のカギを握る、患者総合支援センター長の森俊介先生をご紹介します。

このたび患者総合支援センター長と医療安全センター長を拝命しました森俊介と申します。長崎大学医学部を卒業したのは昭和48年ですので、この病院にとっては化石みたいな存在だと思います。しかし自治体立病院や国立病院機構の院長職を20数年経験してきましたので、危機管理と病—病連携、病—診連携に関してはお役に立てると自負しています。私は卒業と同時に公衆衛生学教室に入局し、疾病や障害には発生頻度があること、人口1万人以上の自治体であれば、その母集団（日本）の発生頻度に応じて患者さんや障害を持った人が出現することを学びました。小さな自治体であれば、患者さんの早期発見、早期治療、早期社会復帰のシステム、障害者の社会復帰、高齢者の社会参加のプログラムの実現が可能ではないかと考えて、自分

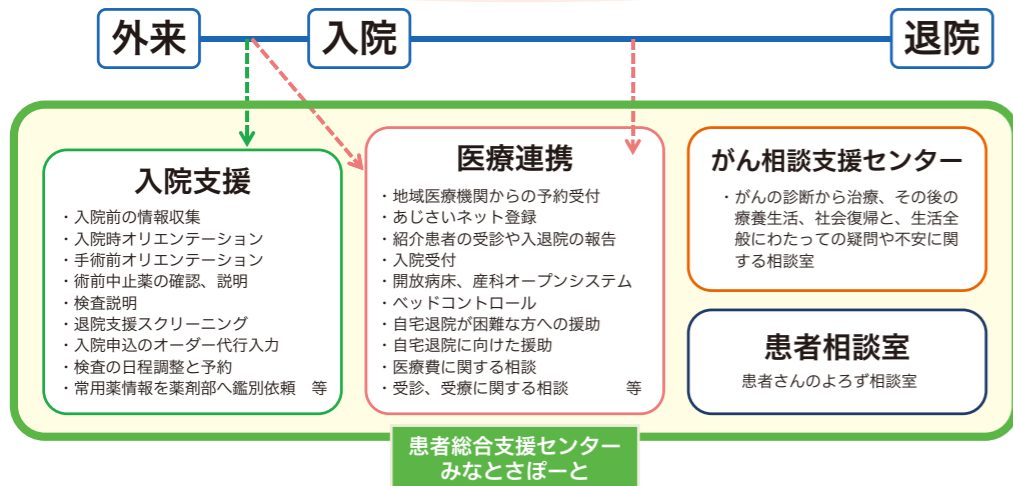
なりに長崎県内の自治体の地域医療・保健・福祉計画を練っていました。その実現のためには公的医療機関を根拠にする必要があると考えて、整形外科学教室で臨床を学び、無謀にも卒業後10年目に厳原病院（現・長崎県対馬病院）に飛び込みました。4年間という短い期間ではありましたが、自治体を巻き込めば理想に近い医療・保険・福祉計画が実現可能であるとの確信を得ました。その後、初めから日本の医療・保健・福祉のモデルになり得ると考えていた人口1万2千人（日本の人口の1万分の1）の琴海町の町立病院に入れて頂きました。当時琴海町には岩永照夫さんという素晴らしい町長がおられ、私達（病院職員、町の保健師、社会福祉協議会の仲間）が立案した10年計画を確実に実行してくれました。その結果は自治体立病院最優秀賞、

毎日新聞地方自治最優秀賞などとして結実しました。町長との「日本一の福祉の町」にするという約束が曲がりなりににも達成できたと思います。その後は、鎮西学院のウエスレヤン大学教授を2年経験し、平成16年から平成24年までは国立病院機構長崎病院長として病院の再建に携わることができました。新病院の建設が始まった頃、国会承認人事として厚生労働省の社会保険審査会（障害年金等の不服に対する最終審査機関）の委員を6年間勤めて、今年の3月に任期満了で退任してまいりました。この度、図らずも兼松理事長からお声をかけて頂き、しばらく働かせて頂くことになりました。もともと大好きな仕事でありますので全身全霊を傾けてお役に立ちたいと思っています。よろしくお願いいたします。



患者総合支援センター長  
兼医療安全センター長  
森 俊介

外来・入院中・退院後の生活まで  
安心して療養できるよう支援します。



## 副院長兼看護部長、事務部長

# 新任のご挨拶



## 新副院長兼看護部長のご紹介

平成30年4月、野口静子副院長兼看護部長の後任として着任しました荒木と申します。雲仙市小浜町の生まれで、国立久留米病院附属看護高等学校を卒業後、国立循環器病センター（当時）に就職しました。国立病院機構京都医療センターの看護部長で勤務してまいりましたが、このたび、郷里の医療に貢献したいと思い帰ってまいりました。病院の理念に近づけるよう、丁寧に細やかに基本に則って患者さんやご家族、職員に誠実に対応することを心がけております。長崎みなとメディカルセンターがこれからも地域の皆様に信頼され愛され、職員からも愛され続けられるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



副院長兼看護部長 荒木 輝美



## 新事務部長のご紹介

平成30年4月に事務部長に就任した松田と申します。当院での勤務歴は、早いもので36年になります。旧市民病院時代は、臨床検査技師として診療に携わり、平成22年からは検査部技師長として新病院建設、移転に献身してまいりました。引っ越しが一段落した翌年の平成27年に、思いも寄らず理事長から声を掛けていただき、医事課長として事務職に転身し3年間、医事業務を通じ、患者さん中心の医療を支えるために院内外を東奔西走してきました。昨今、働き方改革や地域医療構想の実現等、難局に直面しておりますが、私自身、持ち前の行動力で攻める事務部を構築し、安定した病院経営と働きやすい職場環境の実現に向け、精進していく所存でございますのでどうぞよろしくお願いいたします。当センターのことでお尋ねになりたいことがございましたら、お気軽にご連絡ください。



事務部長 松田 一之





**赤城 和優**  
Kazumasa Akagi

- 1 呼吸器内科
- 2 ドライブ



またお世話になります。宜しくお願  
い致します。

**砂河 由理子**  
Yuriko Isagawa

- 1 消火器外科
- 2 散歩



長崎は昨年初めて来  
ました。慣れない事  
もありますが、その  
時その場で一番良い  
状態にできる様、努  
力致します。

**岩本 悠**  
Yu Iwamoto

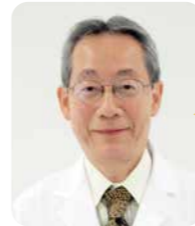
- 1 糖尿病・内分泌内科
- 2 散歩



地域医療に貢献で  
きるようがんばり  
ます。

**高橋 晴雄**  
Haruo Takahashi

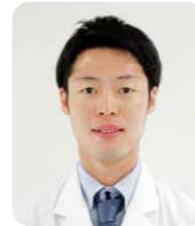
- 1 耳鼻咽喉科(理事)
- 2 サイクリング、  
ジャズ演奏



気分を一新して、  
臨床を頑張ります。  
よろしく。

**田中 達士**  
Tatsuhito Tanaka

- 1 麻酔科
- 2 テニス、  
ウィンタースポーツ



他科、他職種との  
連携を大切に、  
頑張ります。

**谷 真太郎**  
Shintaro Tani

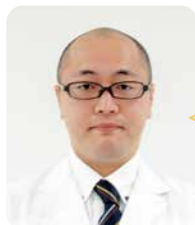
- 1 心臓血管内科
- 2 スポーツ観戦、  
音楽鑑賞



研修医の時は大変お  
世話になりました。  
一生懸命頑張ります  
のでよろしくお願い  
いたします。

**江良 允**  
Makoto Era

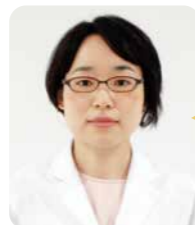
- 1 整形外科
- 2 野球観戦、  
ラグビー観戦



がんばります。

**岡田 恭子**  
Kyoko Okada

- 1 麻酔科
- 2 ドライブ



ベストを  
つくします。

**川原 祐郁**  
Yuka Kawahara

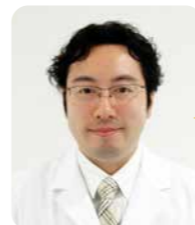
- 1 脳神経内科
- 2 読書、飲食、観劇



鹿児島から来まし  
た。長崎をたくさ  
ん教えてください。  
よろしくお願  
いします。

**中山 裕介**  
Yusuke Nakayama

- 1 小児科
- 2 写真撮影、ゴルフ



小児科医として子供  
の健康と成長を支え  
ご両親にも安心して  
もらえる医療を提供  
します。

**野崎 彩**  
Aya Nozaki

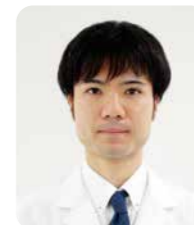
- 1 糖尿病・内分泌内科
- 2 家族でドライブ



よろしく  
お願  
い  
し  
ま  
す。

**原田 淳樹**  
Junki Harada

- 1 泌尿器科
- 2 プロレス観戦



できることから  
やっています。  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**北村 哲生**  
Tessho Kitamura

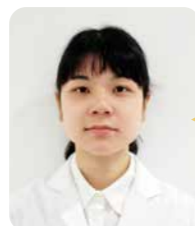
- 1 心臓血管外科
- 2 読書、登山



みなとメディカル  
センターは初めて  
で不慣れですが、  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**木下 麻莉子**  
Mariko Kinoshita

- 1 小児科
- 2 映画



子どもたちが元気  
に笑顔でいられる  
よう、日々頑張り  
ます。

**鋤先 重輝**  
Shigeki Kuwasaki

- 1 心臓血管内科
- 2 スポーツ観戦



長崎大学病院から  
転勤となりました。  
まだまだ未熟者で  
すが、よろしくお  
願  
い  
し  
ま  
す。

**平川 愛**  
Ai Hirakawa

- 1 麻酔科
- 2 旅行



早く慣れるように  
がんばります。  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**平川 英司**  
Eiji Hirakawa

- 1 新生児内科
- 2 旅行



鹿児島から来まし  
た。長崎に貢献で  
きるよう、頑張り  
ます。

**増崎 雅子**  
Masako Masuzaki

- 1 産科・婦人科
- 2 読書



4年ぶりに戻りま  
した。新病院は初  
めてです。よろし  
くお願  
い  
し  
ま  
す。

**小松 菜穂子**  
Nahoko Komatsu

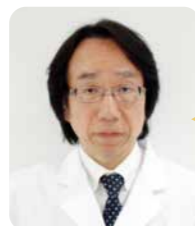
- 1 産科・婦人科
- 2 ドライブ



長崎市の女性のみな  
さんのために頑  
張ります。よろし  
くお願  
い  
し  
ま  
す。

**坂本 一郎**  
Ichiro Sakamoto

- 1 放射線科
- 2 読書  
(特に歴史小説)



これまでの経験を  
生かし、情熱を持っ  
て頑張ります。

**定方 英作**  
Eisaku Sadakata

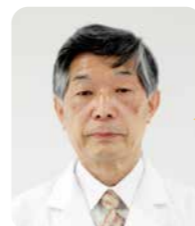
- 1 脳神経外科
- 2 野球、旅行



未熟者ですが、  
がんばりますので  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**森 俊介**  
Shunsuke Mori

- 1 医療安全センター長  
患者総合支援センター長
- 2 読書



与えられた仕事は  
全身全霊で取り組  
みます。

**森田 道**  
Michi Morita

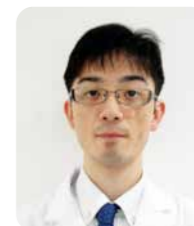
- 1 乳腺・内分泌外科
- 2 ピアノ、料理、  
読書



3度目の赴任にな  
ります。あたたか  
い医療をモットー  
に、笑顔で診療に  
あたります。

**山下 魁理**  
Kairi Yamashita

- 1 脳神経内科
- 2 野球観戦(主にTV)



至らない所も多々  
あると思いますが、  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**佐藤 十紀子**  
Tokiko Sato

- 1 整形外科
- 2 旅行、お酒



頑張ってお働  
きします。よろし  
くお願  
い  
し  
ま  
す。

**高木 博人**  
Hirotaki Takaki

- 1 腎臓内科
- 2 ロードバイク



精一杯努力してい  
きます。よろしく  
お願  
い  
し  
ま  
す。

**高野 篤**  
Atsushi Takano

- 1 耳鼻咽喉科
- 2 スポーツ、  
音楽鑑賞



15年ぶりの勤務で  
す。微力ですが、  
精一杯頑張ります。  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。

**山島 美緒**  
Mio Yamashima

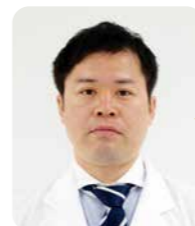
- 1 消化器内科
- 2 TV鑑賞



4年ぶりに戻って  
きました。よろし  
くお願  
い  
し  
ま  
す。

**山道 忍**  
Shinobu Yamamichi

- 1 消化器内科
- 2 釣り



笑顔で  
頑張ります。

**吉村 茉莉花**  
Marika Yoshimura

- 1 眼科
- 2 映画鑑賞、  
ドライブ



外来も手術も一生  
懸命頑張ります。  
よろしくお願  
い  
し  
ま  
す。



# スタッフリレー紹介 管理課施設係・ICU編

## 事務部管理課施設係の浜崎さん



**おつかれさま【お疲れさま】**  
 〈手話源〉左腕をたたくのは、苦勞をねぎらっているしぐさ。顔の前に立てた手を前方に出すのは、相手に敬意を表している。「ご苦労さま」「お疲れさま」という気持ちを表現している。

皆さん、お疲れ様です。平成26年12月に入職しました、管理課施設係に所属している浜崎徳久です。

出身は新上五島町です。私は幼少の頃高熱の為、突然耳が聞こえなくなりました。仕事の内容は、午前中は地下1階の男子更衣室からラウンジまで約10か所程掃除をしています。業者が搬入の際に使用するサービスヤードに殺虫剤散布も行っています。午後は当院外溝の掃除や花壇の水やりなどを担当しています。

施設係のスタッフのみなさんに「おはよう」「終わった」「お疲れ様」などの簡単な手話を教えました。時折筆談もあり、上司に文の意味を聞くと、素早く絵をかきながら説明して下さります。物事が理解できると、仕事がスムーズになり楽しくなります。

趣味はドライブ、写真撮影、スポーツ、歴史散策です。写真はフェイスブックに載せていますので、みなさんぜひご覧ください。



### 広報からひとこと!

いつも黙々と一生懸命仕事に取り組まれている姿が印象的な浜崎さん。浜崎さんが通った後は、塵一つないくらいに、きれいになっています^^) 浜崎さんにぜひ手話講座をやってほしいと、密かに願っています!



## 集中治療病棟の垣内さん

こんにちは。臨床工学技士の藤田さんからバトンを受け継ぎました。看護師の垣内優一です。今年で2年目であり、看護師としてはまだまだ未熟ですが、まわりの先輩方に支えられ日々頑張っています。私は現在、集中治療病棟に所属しており、一般外科をはじめ、脳神経外科、心臓血管外科の術後管理、重症症例の看護を行っています。最近では心臓血管外科の患者さんを受け持たせて頂き、機器や点滴類の管理を行いながら、状態観察を行っています。今の患者さんにとってどのようなリスクがあるのかアセスメントを行うことは難しいですが、少しずつやりがいを感じられるようになりました。重症患者さんとの関わりは命に直結するため、大変ではありますが、とても勉強になる場だと思います。緊迫した環境ではありますが、冷静に患者さんの状態観察を行



つつ、常に患者さん、その家族のことを第一に考えた看護を行っていきたくと思います。

プライベートでは友人と食事へ行ったり、念願の車を購入したためドライブをすることが多いです。身体を動かすことも大好きで、当院スタッフとバレーボールをしたりと、充実した休日を過ごしています。今年は何か他の趣味に出会えたらと思っています。

### 広報からひとこと!

垣内さんは、いつも真面目で礼儀正しい好青年です^^) 今後の成長がとても楽しみです。垣内さん、ファイト~!



みなとメディカルのトピックスをお届け

# MINATOPICS

ミナトピクス

01

2018年2月

当センターの建築が、「九州建築選2017」の中で、“佳作作品”として紹介されました!

### 「九州建築選2017」とは?

・・・九州地方における優れた建築活動を広く伝えるため、(一社)日本建築学会九州支部が毎年行っている「建築九州賞(作品賞)」の応募作品の中から、受賞作品を含む第1次選考を通過した作品を紹介する雑誌です。(毎年出版)

今回出版されたものには、36作品(住宅部門11作品、一般建築部門25作品)が掲載されており、「建築九州賞(作品賞)」を受賞した4作品を「優秀作品」、他の第3次選考対象13作品を「佳作作品」、その他の第2次選考対象19作品を「奨励作品」と位置付け、紹介されています。

当センターは、このうち第3次選考を通過した「佳作作品」として、紹介されています。数ある有名な建築の中で、当センターも紹介されていることを大変誇りに思います。建築に携わった関係者の皆様に感謝して、5年10年先まで、「きれいな病院ですね」と言われるよう、大切に利用していきたいと思っています。



02

2018年3月

路面電車停留場の名称が、「市民病院前」⇒「メディカルセンター」に変わりました!



昭和36年から長年慣れ親しんできた、当センター前にある路面電車の停留場「市民病院前」の名称が、2018年8月1日から、「メディカルセンター」に変わることが、長崎電気軌道株式会社から発表がありました。現在の電停の名称と現況との乖離を解消する目的で、今回変更されるということです。

当センターは、平成26年2月に「長崎みなとメディカルセンター 市民病院」へ、平成28年4月に「長崎みなとメディカルセンター」に病院名を変更しています。新しい電停の名称とともに、現在の病院名を少しずつ皆様に浸透していくことを願っています。



昭和43年頃の病院前の電停です。

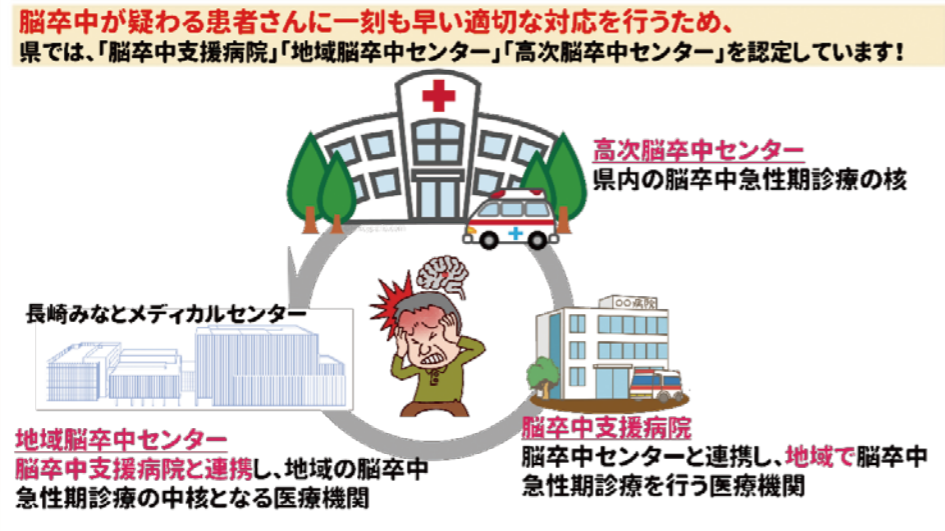


03

2018年4月

地域脳卒中センターに  
認定されました!

長崎県脳卒中急性期専門医療機関認定要領に基づき、長崎県から「地域脳卒中センター」の認定を受けました。地域の脳卒中急性期診療の中核医療機関として、今後さらにその役割を果たしていきます。



04

2018年4月

平成30年度  
職員採用辞令交付式を行いました!

4月2日、平成30年度職員採用辞令交付式を執り行い、新たに89名のスタッフが加わりました。



- 医師……………29名
- 研修医……………12名
- 理学療法士……………2名
- 作業療法士……………1名
- 言語聴覚士……………2名
- 看護師……………38名
- 臨床工学技士……………2名
- 管理栄養士……………2名
- 診療放射線技師… 1名



職員採用辞令交付式の様子



ブリッジブリーフィングの様子

05

2018年  
5月5日~6日

こどもたちの笑顔が最高!!  
~NIB主催 DEJIMA博で  
「お仕事体験コーナー」を実施しました~

ゴールデンウィーク期間中に開催されたNIB(長崎国際テレビ)主催 DEJIMA博に、お仕事体験コーナーとして、当センターも参加しました。今回は、手術器具の展示や聴診器体験、白着用体験を当センターが行い、長崎リハビリテーション病院にもご協力いただき、様々なタイプの車椅子の乗車体験なども行いました。雨が降り、悪天候の中でのイベントでしたが、体験するこどもたちの純粋で輝いた目に、心が癒され、とても充実したイベントとなりました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



来場者 約300名



いつもと違う車椅子に  
ドキドキ!

車椅子乗車体験

白衣試着



将来の夢は看護師さん。  
白衣が着れてとっても嬉しかった

聴診器体験



本当に「トクトク」音が聞こえる  
楽しい!

血圧測定体験



手術器具展示



# 長崎みなとメディカルセンター 外来診療担当医一覧

平成30年8月1日現在

受付時間 8:30~11:00

診療科名	備考	月	火	水	木	金
呼吸器内科	新患	松尾 信子	吉岡寿麻子	井手昇太郎		澤井 豊光
	再診	井手昇太郎	松尾 信子	澤井 豊光		吉岡寿麻子
呼吸器外科			井上 啓爾	平原 正隆	井上 啓爾	
心臓血管内科	新患	中嶋 寛	末永 英隆 <small>不整脈</small>	古殿真之介	布廣 龍也	中嶋 寛
	再診	末永 英隆	武藤 成紀	中嶋 寛	鎌先 重輝	布廣 龍也
心臓血管カテーテル治療科	新患		竹下 聡	竹下 聡	福嶋/谷	古殿真之介
心臓血管外科			橋詰 浩二		橋詰 浩二	
			北村/谷川		北村/谷川	
消化器内科	新患	市川 辰樹	本田 徹郎	本吉 康英	市川 辰樹	植原 亮平
	再診	山道 忍	市川 辰樹 <small>*紹介のみ</small>	市川 辰樹 <small>*紹介のみ</small>	植原 亮平	本吉 康英
消化器外科		川原 大輔	野田 和雅	原口 正史	渡海 大隆	原口 正史
糖尿病・内分泌内科	新患	野崎 彩 <small>連携枠の新患</small>		野崎/永延 <small>午後・専門外来</small>	野崎 彩 <small>連携枠の新患</small>	
	再診	永延 佳子	野崎 彩			永延 佳子
血液内科	新患	松尾 真稔			岩本 悠	
	再診			對馬 秀樹	對馬 秀樹	松尾 真稔
脳神経内科	新患		川原 祐郁 <small>新・要予約</small>		濱邊 順平 <small>新・要予約</small>	山下 彩 <small>新・要予約</small>
	再診	六倉 和生	六倉 和生	濱邊 順平	六倉 和生	
脳神経外科		陶山 一彦		陶山 一彦		八木 伸博
腎臓内科	新患	高木 博人		浦松 正		橋口/石井
	再診	浦松 正		高木 博人	石井 拓馬	橋口麻夕子
心療内科・精神科		辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹	辻村 徹
緩和ケア外科		一瀬 浩郎		井上/一瀬		一瀬 浩郎
産科・婦人科	婦人科	小寺 宏平	中島 久良	福田 久信	小寺 宏平	中島 久良
	産科	福田/中島/小松	福田 久信	増崎 雅子	増崎 雅子	小松菜穂子
乳腺・内分泌外科		増崎 雅子	小松菜穂子	小寺 宏平	小松菜穂子	福田 久信
		南 恵樹		南 恵樹		南 恵樹
小児科		森田 道		森田 道		森田 道
		得 雄一郎	中垣 麻里	中嶋 一寿	中垣 麻里	得 雄一郎
整形外科	新患	木下麻莉子	町 肇	中山 裕介	外來担当医	中嶋/町
	再診	朝長 匡	佐藤十紀子	朝長 匡	前田純一郎	江良 允
形成外科	新・再	江良 允	前田純一郎	江良 允	朝長 匡	佐藤十紀子
		中野 基	長崎大学医師 受付(13:30~15:00)	長崎大学医師	中野 基	芦塚 翔子
放射線科	胃腸透視		福田 俊夫		福田 俊夫	
	超音波	福島 文	福島 文	福田 俊夫		福田 俊夫
	C T	福田/福島	御手洗和範	福島/御手洗	福田・福島	福田 俊夫
	放射線治療	南 和徳	南 和徳	南 和徳	南 和徳	南 和徳
皮膚科	新患	東 江里夏	森崎 仁美	東 江里夏	森崎 仁美	
	再診	森崎 仁美	東 江里夏	森崎 仁美	東 江里夏	
泌尿器科	新患	竹原/原田	渡辺 淳一	渡辺/竹原/原田 (10時まで急患のみ対応) ※急患以外は対応不可	竹原 浩介	渡辺/原田
	再診	渡辺 淳一	竹原 浩介		渡辺 淳一	竹原 浩介
眼科		山本聡一郎		山本聡一郎		山本聡一郎
		吉村茉莉花		吉村茉莉花		吉村茉莉花
耳鼻咽喉科	1 診	大学応援医	高橋 晴雄 <small>連携枠・要予約</small>	高橋 晴雄 <small>再診のみ</small>		高橋 晴雄 <small>再診のみ</small>
	2 診	高野 篤	高野 篤	高野 篤		高野 篤
臨床腫瘍科	午後から	峯 孝志 <small>再</small>		峯 孝志 <small>新</small>	峯 孝志 <small>再</small>	
救急科		東京大学医師	長崎大学医師/東京大学医師	東京大学医師	東京大学医師	長崎大学医師/東京大学医師
国際外来	新・再	南 恵樹 <small>要予約 14:00~</small>				



第1~第4土曜日は、  
マーメイド外来(女性専用外来)を  
完全予約制で行っています。

- 交通アクセス**
- 長崎駅より車で5分
  - 長崎電気軌道/メディカルセンター電停より徒歩1分
  - 長崎バス/市民病院前バス停より徒歩1分
- 高速道路をご利用の場合  
長崎ICより、ながさき出島道路(通称:出島バイパス)をご利用ください。バイパス出口左横に見える建物が当院になります。(ながさき出島道路の普通車通行料金:100円)